

アフターコロナの「人材確保」

どう向き合うか？

新型コロナウイルスの長期化により、企業も大きな影響を受け、社会の変化に伴って急遽の対応を余儀なくされてコロナ禍の行動制限が徐々に緩和され、人の動きが活発となり、本格的な経済活動回復の兆しが見えてきました。今回は、ジンサボぎふ(岐阜県中小企業総合人材確保センター)にこれまで寄せられた相談をもとに、アフターコロナ

きました。これから企業にとって重要な課題となるのは、働く人の意識が変化した上での「人材の確保」ではないでしょうか。の人材確保に対する向き合い方のヒントを見つけていきましょう。



図表で見る 人材活用のヒント。

最近の傾向として、職業を選ぶ際、働き方改革の推進により「個の暮らし」を優先するようになりました。また、「コロナ禍を経て生まれたリモートワークやフレックスタイム制などの新しい働き方も、人々の職業選択時の価値観に大きな影響を与えています。こうした傾向は今後も続くと思われる。一方で新しい働き方が馴染まない企業があるのも事実です。製造業が多い岐阜県では、こうした働き方とは異なるスタイルを模索していくことが今後の課題と言えるでしょう。

課題は「採用」か？ 本質を見極めたい。

コロナ禍を境に、課題を
採用とする企業が増えた。
オンラインでの情報の発信
や取得が活発化したこと
で、人の動きが見えにくく
なっていることが一因と思
われる。

しかし、実際に話を聞く
と採用そのものが問題では
なく、定着状況等が採用に
影響を及ぼしている節が多
く見られる。

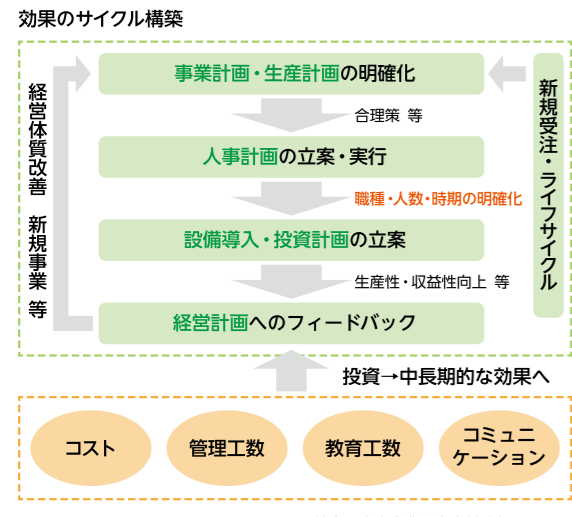
若者の採用強化を 望むなら…。

オンラインでの就職活動
が主流の今、訴求の質は大
きく影響している。人材確
保が厳しい中でも若者の採
用が比較的スムーズな企業
には、共通点がある。例を
挙げるため求める人材像が具
体的で明確な点だ。
逆に、求める人材像が不
明瞭だったり自社分析が不
十分だったりすると、採用
に支障が起きるようだ。

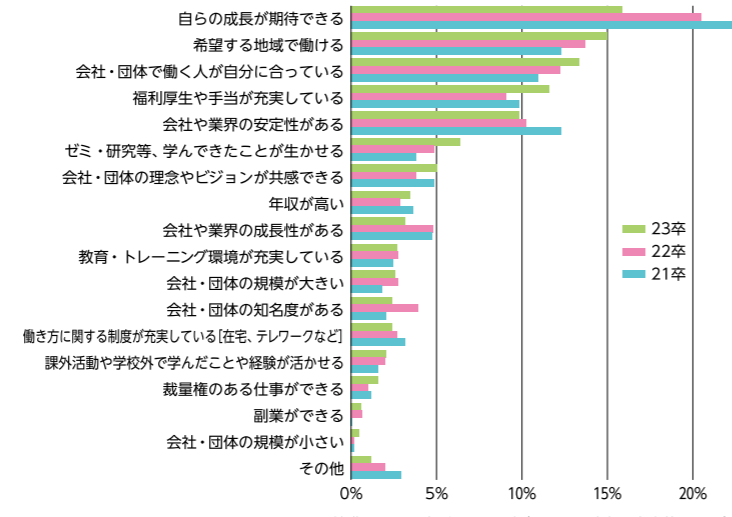
外国人材の雇用を 検討する場合に…。

労働人口の減少もあって
外国人材の活用問題がコロ
ナ禍以前より活発に論議さ
れている。
昨今の円安の影響もあり、
労働市場としての日本はか
つてほど魅力がないようだ。
人材確保を狙う企業とし
ては、これまで以上に戦略
を練っていく必要があるだ
ろう。

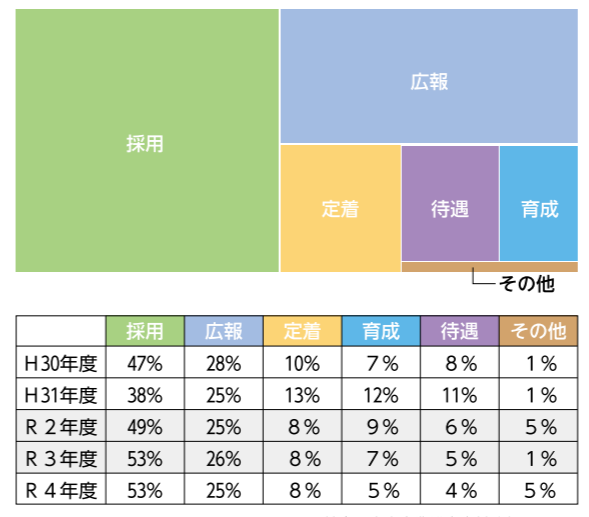
外国人材の戦略的活用



就職先を確定する際に最も決め手となった項目



県内企業が悩みに感じている人事の課題





岐阜県中小企業総合人材確保センター
センター長 増田 雅彦

「アフターコロナ」を見据えた人材確保
 新型コロナウイルスの影響による景気後退局面にもかかわらず、岐阜県の人材需要は旺盛であり、直近の有効求人倍率（令和5年2月）は、1.64倍と1倍を大きく上回り、全国4位となっております。この背景には、労働力人口の減少という構造的な問題もありますが、今後、コロナの終息に伴い、さらに人手不足は顕著になると予想されます。こうした中、アフターコロナを見据えた人材確保について、今から取り組んで頂く必要があります。具体的な課題としては、テレワークの導入など働く環境の整備や外国人や副業人材など多様な働き手の活用、さらには従業員への定着などがあげられます。当センターでは、こうした課題に対して、企業の方に具体的な打ち手を提案させていただきます。人材確保でお困りの企業の皆様、ぜひ当センターをお気軽にご利用ください。

企業支援グループ

外国人材活用推進事業

岐阜県プロフェッショナル人材戦略拠点

ジンチャレ！ (シンクタンク庁舎)

ジンチャレ！ Jobステーション (アクティブG)

お問い合わせ 岐阜県中小企業総合人材確保センター ジンサボぎふ
 岐阜市藪田南5-14-12 岐阜県シンクタンク庁舎2階 TEL058-278-1146 E-mail kigyo@jinzai-gifu.jp



希望と課題と苦勞と夢と。

その道の人たちにQ&Aで聞いてみた。
 コロナ禍がもたらしたものは「苦ばかりだったのでしょうか。経験した苦勞を見直し、今後の課題へリンクさせることで、人材の確保や活用についてヒントが見えてくるかもしれません。相談業務からアドバイザーが捉えた、希望への糸口となりそうなエピソードをご紹介します。



後方支援グループ
広報・求人チームリーダー 平松 知子

求職者の動向の変化についてお聞きします。コロナ禍から現在の間で、求職者がどのような点を重要視しながら就職活動をしていると感じますか？

コロナ禍の、転職を考えているけど様子を見ています、という動き渋りから、少しずつ日常が戻ってきて、活動再開されているようです。以前と違うと感じることは、『より安定を求める傾向』です。ひと昔前は、全国を飛び回ってより高い収入を得たい、という価値観がありました。現在はその傾向はほぼ無くなり、安定した就業、福利厚生の実を挙げる人が多いように感じます。

外国人材の活用についてお聞きします。どんなことにポイントをおいて人材活用を進めたらよいでしょうか？



外国人材活用推進事業
サブマネージャー 原田 秀樹

外国人雇用の第一歩を踏み出すには、大きな不安やリスクを伴うかもしれません。外国人材に関するネガティブな情報もありますから当然でしょう。ただ、中長期的な成長など、継続性ある効果やメリットがあることも事実です。私たちは外国人雇用に関する正しい情報をお伝えし、ご検討に向けて支援します。

実際に相談を通じて「これはアフターコロナに活かせる」と感じた具体的な事柄はありますか？

「これはアフターコロナに活かされる」と感じたことはダントツでデジタル化ではないでしょうか。例えば、採用活動で例を挙げると「オンラインによる面接」です。これは、採用活動をする企業であれば、ほとんど対応が必須だったと思います。これについては、導入は大変だったかもしれませんが、求職者・採用担当者いずれも快適な仕組みとなって今後も活用されるのではないのでしょうか。他県からの応募の負担も減るので、出会いの機会が増えることにつながっていると思います。



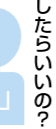
企業支援グループ
企業アドバイザー 村井 美晴

岐阜県で頑張る企業と岐阜県で働きたい人を
 結ぶ、岐阜県が運営する拠点。
 それが岐阜県中小企業総合人材確保センター

同センターの特徴は、岐阜県で働くこととする人に企業の人材情報が届きやすい仕組みになっていることです。県内のみならず、都市圏にも窓口を備え、他県から岐阜県に戻ろうとする人、移住をしたい人にもリーチするよう広く情報発信を行っています。

また、毎回好評を博しているジンチャレ合同企業説明会は20代〜30代の参加者の割合が多く、毎回たくさんのお会いが生まれています。ぜひ一度、同センターの情報をご確認ください。

こんな事ありませんか？



- ・広報の手段、迷うな
- ・UIJター人材の雇用どうしたらいいの？
- ・人が定着しないな

そんな時は個別相談

ジンサポアシスト

アドバイザーは担当制だから安心。オンラインでも対応可。効果的な求人票の書き方から補助金情報の提供など…人事まわりのあらゆるご相談に対応します。

まずはご利用ください。



- ・岐阜県で働きたい人にリーチする！
- ・合同企業説明会に参加したい場合…

求人掲載なら

ジンチャレ求人

求人検索サイトスタンバイに連携して広く求人情報を拡散。情報は県内各種学校にも提供。東京や大阪、名古屋など都市圏にも情報発信。掲載をご検討の際は、個別相談ジンサポアシストをご利用ください。